

## 2017年度 行事部主催 施設見学研修会 報告

—京都医療少年院—

2017年8月21日（月）14：00～15：30

### 1. はじめに

今年度の行事部主催の施設見学研修会では、京都府宇治市にある「京都医療少年院」を訪れました。研修等で医療少年院の取り組みを聞き興味をもっておられる先生方から、一昨年度の宮川医療少年院の見学会と同様、今年度も多くの申し込みがありました。普段はなかなか見学する機会がない医療少年院で、施設の方から貴重なお話を聞かせていただき、施設を見学させていただきました。プライバシー等の制約があるため写真を掲載することはできませんが、1時間半の研修会で学んだことを報告します。

### 2. 時程 2017年8月21日（月）14：00～15：30

13：30 参加者集合、受付

14：00 見学

1) 施設概要説明 2) 施設見学 3) 質疑応答

15：30 解散

### 3. 京都医療少年院について

#### (1) 京都医療少年院とは

全国に4ヶ所ある医療少年院のうちの一つで、西日本における少年院の医療センター的な役割を持つ少年（男子及び女子）を収容する矯正施設である。24時間体制での医療や看護など充実した医療体制で疾病などの治療を行うとともに、非行に関わる態度や行動上の問題の改善を図り、心身ともに健康な若者を育成するための矯正教育を実施する法務省所轄の国立の施設である。

#### (2) 対象者

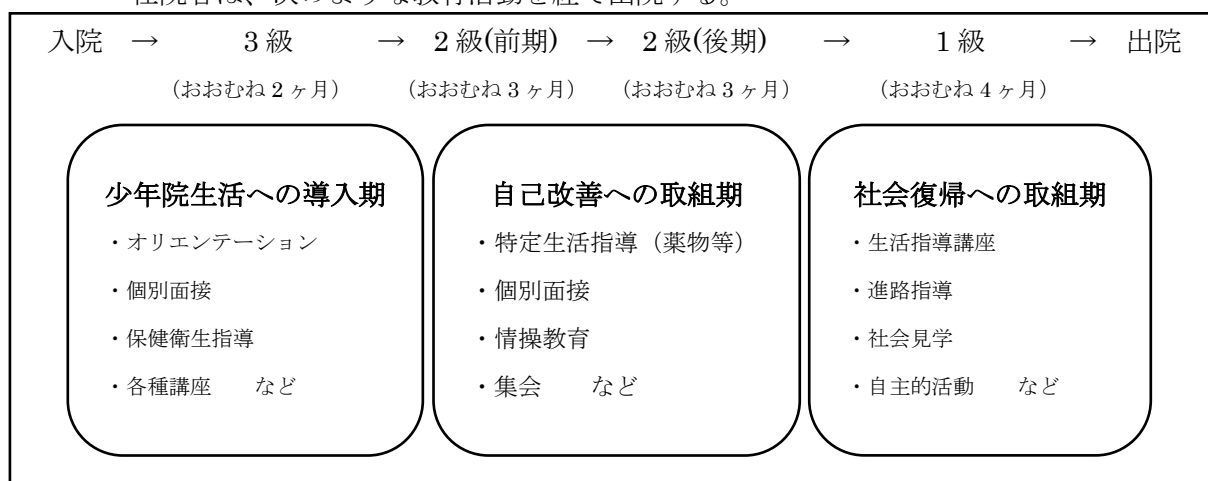
主に西日本の家庭裁判所において第三種少年院送致の決定を受けた少年及び少年院在院中に専門的治療が必要になった少年を収容している。

#### (3) 特徴

- ① 矯正教育と医療措置を必要とする少年を収容
- ② 地域的な広がり
- ③ 西日本における少年院の医療センターとしての役割
- ④ 身体疾患、身体障がい、精神疾患または精神障害を有する14歳から20歳をこえる多種多様な少年が混在

#### (4) 教育の内容

在院者は、次のような教育活動を経て出院する。



#### (5) 一日の生活(平日)

7:00	起床・点呼
7:30	朝食・余暇時間・身辺整理
8:55	朝礼
	診察・午前日課(職業指導等)
12:00	昼食・余暇時間
13:00	午後日課(体育指導・情操的活動等)・入浴
17:00	夕食・余暇時間
17:55	日記・集会・夜間回診
19:10	補習学習・余暇時間
21:00	就寝

生活指導・・・社会の一員として自立した生活を営むための基礎となる知識及び生活態度を習得させる指導を行う。

特定生活指導・・・特定の課題を抱える在院者に対し、その改善に向けたプログラムを実施する。

職業指導・・・社会生活に適応するために、勤労習慣、忍耐力、マナー等を身につけさせるとともに、各種資格の取得に必要な訓練を行う。

教科指導・・・義務教育や社会生活に必要な基礎学力を身につけさせる指導を行う。

体育指導・・・各種スポーツ、ダンスなどを通じて、健全な身体の発達を促し、運動能力や健康で安全な生活を営む能力を育成することを目的とした指導をする。また、日常生活に必要な体力や技能を高めることのみならず、順法の問題や協調性を育む指導をする。

特別活動指導・・各種行事、社会貢献、地域の方々との交流を通じて、社会性や自主性の涵養を図る。

社会復帰支援・・就労・就学支援。出院後の生活を安定させるため、ハローワークと連携して、職業紹介、求人情報の提供など就職活動を支援する。  
帰住調整、家庭、保護観察所や福祉機関等と連携を取りながら、スムーズに社会生活につなげられるような支援を行う。

#### (6) 感想

- ・なかなか知ることのない医療少年院の様子を詳しく知ることができてよかったです。少年院という特別な場での指導というイメージがあったので、学校での教育にも共通するところが大きいことがわかりました。
- ・生活面（生活指導面）の課題と発達面の課題とが重なっている者が多く、そういった子どもたちが医療少年院を含む少年院に入院してくる割合がかなりいるということがわかりました。
- ・なかなか普段では見ること、聞くことができない施設見学でした。様々な活動をなされている（自分が想像しているのと違う）のだなと感じました。貴重な体験をありがとうございました。
- ・なかなか見ること、聞くことができない経験でした。学校での教育だけでない、違う面での子どもとの関わりを知り、今後につながる経験でした。

#### (7) おわりに

施設見学では、廊下に飾られた俳句や工芸品などみることができました。俳句の作品には、両親への感謝や反省の思いが綴られていました。また、施設の方の話から「生活を安定させることが優先になる少年が多い」ということを伺いました。教師として、目の前にいる子どもたちに入院前にもっと何かできることはなかったかと振り返る貴重な機会となりました。

以上、今年度の行事部主催施設見学研修会の報告とさせていただきます。京都医療少年院の方々、当日はお忙しい中、大支研施設見学会のためにお時間を割いていただきありがとうございました。末尾ながらお礼申し上げます。